



JASDAQ

平成 22 年 10 月 25 日

各 位

会社名 水道機工株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 眞理
(JASDAQ・コード 6403)
問合せ先 取締役執行役員
環境・海外事業本部長
若林 省一
電 話 03-3426-4801

中国における合弁会社の設立に関するお知らせ

当社は、中国の藍星環境工程有限公司（本社：中国北京市、総経理 王 建軍）、ならびに東レインターナショナル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 田中 英造）との3社共同による合弁会社の設立に関し、平成22年10月24日に契約調印をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の理由

中国では、高い経済成長に伴う工業化の進展により、水の使用量が急激に増加しています。特に都市部では人口増加により水需要が増加する一方で、水源となる河川などの汚染が深刻化しており、水質確保のため下廃水処理のインフラ整備が急務となっています。

設立する新会社（特別目的会社）は、河南省焦作市の焦作工業産業集結区に BOOT 方式※により、排水処理場の建設・運営を行う予定で、同処理場の能力規模は 2.5 万トン/日、総投資額は約 70 百万元（約 9 億円）、運営・維持管理期間は 26 年の予定です。

新会社においては、中国藍星グループの藍星環境工程有限公司が有する廃水処理の実績・ノウハウと東レグループの商事会社である東レインターナショナル株式会社の国内外での水処理膜等の販売力に加えて、当社の有する水処理技術及び国内の O&M（運転・維持管理）事業で培った技術力を活かし、安定的かつ高度な下廃水処理の実現を目指してまいります。

※BOOT方式

Build（建設）Own（所有）Operate（運営）Transfer（譲渡）の略で、民間事業者が資金調達を含めて公的インフラ整備を引き受け、完成後の契約期間中運営を行い、契約期間終了後に所有権を公共部門に移転する事業方式。

2. 設立する合弁会社の概要

- | | |
|------------|---|
| (1)商号 | 藍星水務投資（焦作）有限公司<仮称> |
| (2)代表者 | 董事長 王 建軍（現 藍星環境工程有限公司 総経理）（予定） |
| (3)所在地 | 中国河南省焦作市 |
| (4)設立年月日 | 2010年12月末（予定） |
| (5)主な事業内容 | 焦作市焦作工業産業集結区汚水処理場の建設及び運営 |
| (6)事業年度の末日 | 12月31日 |
| (7)資本金の額 | 5百万USドル（約4億円） |
| (8)出資比率 | 藍星環境工程有限公司 70%
水道機工株式会社 20%
東レインターナショナル株式会社 10% |

3. 設立の日程

- (1)合弁契約締結 平成22年10月24日
- (2)合弁会社設立 平成22年12月末（予定）

4. 今後の見通し

当該新会社は当社の関連会社となる予定ですが、平成23年3月期の連結業績への影響はありません。

【ご参考】

<藍星環境工程有限公司の概要>

- (1)商号 藍星環境工程有限公司
- (2)代表者 総経理 王 建軍
- (3)所在地 中国 北京市
- (4)主な事業内容 エンジニアリング、水処理、工業洗浄、膜技術と膜設備、水務投資及び運営
- (5)資本金の額 60百万元
- (6)大株主 藍星清洗股份有限公司 100%
- (7)当社と当該会社の関係等
資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況についての該当事項はありません。

<東レインターナショナル株式会社の概要>

- (1)商号 東レインターナショナル株式会社
- (2)代表者 代表取締役社長 田中 英造
- (3)所在地 東京都中央区
- (4)主な事業内容 東レグループ製品の国内販売及び輸出入を中心とした商事活動全般
- (5)資本金の額 20億円
- (6)大株主 東レ株式会社 100%
- (7)当社と当該会社の関係等
同社とは水処理事業に関連する販売等の取引関係があります。
資本関係、人的関係、関連当事者への該当状況につきましては、該当事項はありません。

以 上